

## きほくのまち人探訪

## 「受け継がれてきた伝統を次世代へ」



近永五つ鹿踊り保存会

しもだ あらた  
下田 新さん

「近永五つ鹿踊り保存会」の会長を務める、下田新さん。地域の伝統行事である五つ鹿踊りを、未来に受け継いでいこうと奮闘しています。

毎年、弓滝神社の秋の例祭に合わせて披露される、近永五つ鹿踊り。コロナ禍の影響で、秋祭りが3年続けて中止となっている中でも、五つ鹿踊りは神事に合わせて、神社の境内の中だけでひっそりと続けられてきました。

平成14年の保存会結成以降は、近永の高田直義さんが長らく会長を務め、活動の継承に尽力してきました。その高田さんも高齢になり、後継者を求めていたところ、中学生時代に踊り手と笛奏者、両方を経

験したことのある下田さんに白羽の矢が立ち、平成30年から会長を務めることになりました。

毎年、近永在住の中学生が踊り手となり、10月20日ごろから11月の第2日曜日の例祭日まで、近永公民館で練習に励みます。「コロナ禍の間は地域を回れていないので、来年は子どもたちの練習の成果を地域の人たちに見てほしい」「いにしえから現代まで受け継がれ、自分も経験してきた五つ鹿踊りを無くしたくない」と話す下田さん。迫力ある牛鬼や四つ太鼓の練りとは一味違い、哀愁漂う旋律と優美な舞いで人々を魅了する五つ鹿踊りを、来年こそは皆さんぜひご覧ください。

## ALTの鬼の里Diary ~Nicole編~

## 「I need daily exercise to eat cake」



鬼北町に住んでいて良かったことの一つは、素晴らしいケーキが近くで買えることです。週に一度、20分間の散歩に行くようにしています。この非常に疲れる20分間の後、ご褒美を受け取るのは素晴らしいことです。私の1番好きなご褒美はケーキです。おすすめのケーキやさんは、「パティスリー縁」や「サムコッペ」です。「フジ」のケーキも美味しいです。

すべての材料が新鮮なので、これらのケーキはとて美味しいです。フルーツの入ったケーキやタルトが好きです。果実は常に光沢があり、完璧で、素晴らしい味

がします。一品一品丁寧に仕上げられているのがわかります。見た目が可愛すぎて食べたくないです。

しかし、私はいつもそれらをすぐに食べ終えてしまいます。見た目だけでなく味も美味しい鬼北町のケーキは最高です。アメリカでは見た目を気にしすぎて、美味しくありません。でも、鬼北町で食べた食事はどれもおいしく、学校給食もとても美味しいです。

ケーキのせいで、毎日運動した方がいいと思います。鬼北町のケーキは最高です。

## 地域おこし協力隊活動日記

地域おこし協力隊3年目

あわの まさおみ  
粟野 正臣



今年も終わりに近づいてきました。和紙の活動ですが、最近、ワークショップを行ったり、他の協力隊と共同で品物を制作したりと、グループワークが増えてきました。一人で物づくりをするのも没頭できてよいですが、他者と意見をすりあわせながら、アイデアを徐々に形にしていくことも面白いです。今は声を掛けていただくことが多いのですが、これからは自分からも働きかけをして、もっと泉貨紙が活用される場面を増やしていければと思います。

また、イベント等に出店し、泉貨紙に触れていただく機会も大切にしています。パソコンの画面越しで見ると、直に目で

## 「和紙のご縁」

見る「紙」は明らかに違うので、こうした活動も続けて行きたいです。

12月からは泉貨紙の紙漉きが始まっています。体が漉き方を覚えているかどうか、確認するのが楽しみです。



◀ イベント販売用の泉貨紙商品